

滋賀県・ミシガン州姉妹提携50周年記念
公益社団法人滋賀県書道協会創立70周年記念

「SYODO 書道展」の開催について（報告）

会期：平成30年（2018年）8月19日～10月16日

会場：アナーバー公立図書館

地下1階：高校・一般

2階：小・中学生

3階：協会役員・一般（「国際交流書展」上位入賞者）

展示内容：本年5月に大津市歴史博物館にて開催した「国際交流書展」には、県内各地より4,238点もの力作が寄せられました。本展では、その中でもとりわけ優れた特選受賞作349点と公益社団法人滋賀県書道協会役員の作品およびこの書道展のために三日月大造滋賀県知事が書かれた作品、さらに昨秋、両知事と理事長の共同作品「湖」も展示しています。図書館職員からも「生き生きして素晴らしい展覧会だ」等の声をいただくなど好評です。（期間中掛け替え有り）

交流事業：8月20,21日の二日間にわたり以下のワークショップを開催しました。

1. 「うちわ作り」（地下1階）

1. 漢字とその意味を英語表記したカードを用意し、一字を選ぶ
2. 画仙紙に筆で墨や絵の具を使用して書く
3. ドライヤーで乾燥させる
4. うちわの形にカットする
5. 名前の最初の音のひらがな印を押印
6. うちわの骨に貼り付け完成

2. 「一字書」

1. 漢字とその意味を英語表記したカードを用意し、一字を選ぶ
2. 半紙に選んだ一字を書く（団員が筆順指導）
3. 大きな紙（画仙紙全紙）に大書する
4. 図書館が用意したロール紙に寄せ書きする

訪米団員102名を8班に分け、タイムテーブルを作成し、時間を分けて全員が二つのワークショップを担当しました。当初、英会話ができないため消極的だった団員も、身振り手振りで通じるとわかると、ドンドン積極的に交流するようになりました。特に団員の3割に当たる青少年（小・中・高校生）が、生き生きと活動している姿が印象的でした。

訪れた現地の方々も作業が進むに連れ笑顔になり、最後は大変満足の笑顔を浮かべていました。感動のあまり作業終了後も会場を立ち去らない子どもがいる等、大きな成果を挙げることができました。初日の来場者があまりに多く正確な来場者数が把握できていませんが、二日間で約300名の来場があったと推定され、盛況裡に終えることができました。

3. 雲平筆製作実演

21日に2回にわたり地下1階で攀桂堂・藤野純一氏に藤巻筆製作の実演を解説を加えながらしていただきました。両回とも20～30名の方が集まられ、終始熱心にご覧になりました。終了後も質問が途切れず、しかもレベルの高いもので、内容的にも充実したものとなりました。

開催の経過

8月17日（金）

神田理事長、押谷事務局長、藤居総務の3名が到着。

現地駐在の県職員・西村俊介氏、式典・祝賀会の進行をお願いする県人会会長・アンドリュー・ギルマン氏、通訳ボランティアをお願いする大津高校卒業生でミシガンに語学留学中の谷口展子氏と打ち合わせ。

8月18日（土）

9時より会場設営。図書館側の本展担当者であるディレクターのテリー・サーブ氏、西村氏との5名で準備に当たりました。お二人の献身的なはたらきもあり、夕方に全ての準備を終えることができました。

8月19日（日）

15時よりオープニングセレモニー。

ジョージ・パーカー・アナーバー図書館長挨拶

チャック・ワーペホスキー・アナーバー市議団代表挨拶

マリリン・シュライフ姉妹県州委員会会長挨拶

神田理事長挨拶

三日月滋賀県知事祝辞（西村氏代読）

以上の後、歓談。友好を深めた後3階にて席上揮毫。

揮毫者：押谷事務局長・ジョージ図書館長 作品「希」

藤居総務・チャックアナーバー市議団代表 作品「望」

神田理事長・マリリン県州委員会会長 作品「福」

来賓のみならず、来館者も含め多くのギャラリーの中開催。大変好評でした。
オープニングセレモニー出席者は以下の通りです

- | | | |
|----|---------------|-----------------------------|
| ① | デイブ・ローレンス | ミシガン経済開発公団 観光局副長 |
| ②※ | チャック・ワーペホスキー | アナーバー市代表市議会議員 |
| ③ | リンジー・カーチンジャー | ミシガン経済開発公団 儀典長 |
| ④ | ケイトリン・ウィルコックス | ミシガン経済開発公団 儀典長アシスタント
チーフ |
| ⑤※ | ジョージ・パーカー | アナーバー図書館長 |
| ⑥※ | マリリン・シュライフ | ミシガン滋賀姉妹県州委員会会長 |
| ⑦ | パトリック・ボーハイム | アナーバー彦根姉妹都市委員 |
| ⑧ | ビル・ワーツェル | アナーバー彦根姉妹都市委員 |
| ⑨ | 恵 ロバーソン | アナーバー彦根姉妹都市委員 |
| ⑩ | マリー・ホール＝チャム | ミシガン滋賀姉妹県州委員会 |
| ⑪ | ブリギッタ・マスン | ミシガン滋賀姉妹県州委員会 |
| ⑫ | ジム・ビーマン | ミシガン滋賀姉妹県州委員会 |
| ⑬ | シャーリー・クック | ミシガン滋賀姉妹県州委員会 |
| ⑭ | チャーリー・クック | ミシガン滋賀姉妹県州委員会 |
| ⑮ | 茶城 麻優子 | 在デトロイト総領事館 |

※ご挨拶をいただいた来賓

17時、残りの訪米団99名がホテル（シェラトン・アナーバーホテル）に到着

18時、同ホテルにて全員が出席して祝賀会開催

ジョージ・パーカー・アナーバー図書館長挨拶

チャック・ワーペホスキー・アナーバー市議団代表挨拶

マリー・ホール＝チャム姉妹県州委員会員挨拶

神田理事長挨拶

三日月滋賀県知事祝辞（西村氏代読）

三日月・スナイダー両知事と神田理事長合作の「湖」にマリリン会長がスナイダーの雅印を押印。雅印は後日スナイダー知事に渡される予定。

セレモニーで制作した共同作品に、各自が押印。ミシガン側の3名もそれぞれの刻印を用意し、押印後はプレゼントとしました。

懇談

神田理事長が挨拶の中で、参加した31名の小・中・高校生に向けて「50年後、100周年の記念事業の中心を担うのは皆さんです」と述べたことを受けて、マリリン会長が滋賀の青少年を中心に懇談されていた姿が大変印象的でした。

最後は、全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱。来賓の皆様もローマ字表記の楽譜を、国際室のご協力で事前に配布したため、大きな歌声で一緒に歌って下さいました。

レセプション出席者は以下の通りです。

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| ①※チャック・ワーペホスキー | アナーバー市代表市議会議員 |
| ②※ジョシー・パーカー | アナーバー図書館理事長 |
| ③ テリー・サーブ | アナーバー図書館 マネージャー |
| ④ マリリン・シュライフ | ミシガン滋賀姉妹県州委員会長 |
| ⑤ パトリック・ボーハイム | アナーバー彦根姉妹都市委員 |
| ⑥ ビル・ワーツェル | アナーバー彦根姉妹都市委員 |
| ⑦ 恵 ロバーソン | アナーバー彦根姉妹都市委員・滋賀県人会
(通訳) |
| ⑧※マリー・ホール＝チャム | ミシガン滋賀姉妹県州委員 |
| ⑨ ブリギッタ・マスン | ミシガン滋賀姉妹県州委員 |
| ⑩ ジム・ビーマン | ミシガン滋賀姉妹県州委員 |
| ⑪ シャーリー・クック | ミシガン滋賀姉妹県州委員 |
| ⑫ チャーリー・クック | ミシガン滋賀姉妹県州委員 |
| ⑬ 筒井清輝 | ミシガン大学 日本研究センター所長 |
| ⑭ ブラッド・ハモンド | ミシガン大学 日本研究センター
コーディネーター |
| ⑮ ケイト・サイモン | ミシガン州立大学連合日本センター理事長 |
| ⑯ 森下加奈子 | 日本草の根交流コーディネーター |
| ⑰ ジェニファー・ピピン | ミシガン州立大学アジア研究センター
コーディネーター |
| ⑱ アン・ホガット | 滋賀県人会 |
| ⑲ デイビッド・ロバーソン | 滋賀県人会 |
| ⑳ アンドリュー・ギルマン | 滋賀県人会会長 (通訳・MC) |

※ご挨拶をいただいた来賓

8月19日 オープニングセレモニー
レセプション



8月19日 オープニングセレモニー（アナーバー図書館4F）



セレモニー後、押谷・ジョージ図書館長、
藤居・チャック市議団代表、神田・マリリン
姉妹県州委員会会長の3組がそれぞれ共同制作
の席上揮毫蒼しました。



本隊99名が合流し、来賓を含め総勢約120名の出席で
盛大にレセプションを開催しました。
（シェラトン・アナーバー・ホテル）



席上のアトラクションとして、昨秋両知事と理事長で
共同制作した「湖」、および当日共同制作した作品に
押谷先生刻の雅印を押印しました。



フィナーレは全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱。
来賓の方もローマ字表記の楽譜と一緒に歌って下さいました。



祝賀会終了後全員で「はいチーズ」。到着早々の祝賀会にも関わらず多くの先生方が着物でご出席いただき花を添えて頂きました。

会場風景



2F は小・中学生の展示



地下1F は一般・高校生の展示



3F は役員と上位入賞の一般の作品を中心に展示



3組の共同制作作品も急遽展示されました。
左はマリリン・シュライフ友好協会会長
右は県職員でミシガン駐在の西村氏。
お二人には大変お世話になりました。



「湖」も海を渡ってきました！



ワークショップ

7月20日、21日。いよいよ二日間にわたり会場にてワークショップの開催です。

タイムテーブルを組んで、訪米団員全員がワークショップに参加し、交流を深めて頂きました。

大盛況のB1F うちわ作り教室



4Fの一字書教室

まず、用意したカードから一文字を選んでもらい、半紙→全紙→ロール紙に寄せ書きと3回チャレンジしてもらいました。



雲平筆の製作実演も多くの人が高い関心をもって熱心にご覧になりました。実演後もハイレベルの質問が次々と出され、非常に有意義でした。